

- Oura A, Washio M, Wada J, Arai Y, Mori M: Factors related to institutionalization among the frail elderly with home-visiting nursing service in Japan. *Gerontology* 2006; 52 (1) : 66-68.
- Kumamoto K, Arai Y, Zarit SH. Use of home care services effectively reduces feelings of burden among family caregivers of disabled elderly in Japan: Preliminary results. *Int J Geriatr Psychiatry* 2006; 21 (2) : 163-170.
- Nagao M, Sugawara Y, Ikeda M, Fukuhara R, Ishikawa T, Murase K, Kikuchi T, Mochizuki T, Miki H. Heterogeneity of posterior limbic perfusion in very early Alzheimer's disease. *Neuroscience Research* 2006; 55: 285-291.
- Mori T, Ikeda M, Fukuhara R, Nestor PJ, Tanabe H. Correlation of visual hallucinations with occipital rCBF changes by donepezil in DLB. *Neurology* 2006; 66 :935-937.
- Mori T, Ikeda M, Fukuhara R, Sugawara Y, Nakata S, Matsumoto N, Nestor PJ, Tanabe H. Regional cerebral blood flow change in a case of Alzheimer's disease with musical hallucinations. *Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci* 2006; 256: 236-239.
- Ikeda M. Donepezil for BPSD in dementia with Lewy bodies: a preliminary study. *PSYCHOGERIATRICS* 2006; 6: s35-s37.
- Ikeda M. Attitude of community dwelling elderly people regarding dementia and driving. *Jpn Bull Soc Psychiat* 2006; 14 suppl: 155-157.
- Ikeda M, Patterson K, Graham KS, Lambon Ralph MA, Hodges JR. A horse of a different colour: Do patients with semantic dementia recognize different versions of the same object as the same? *Neuropsychologia* 2006; 44: 566-575.
- Yokota O, Tsuchiya K, Itoh Y, Ishizu H, Akiyama H, Ikeda M, Kuzuhara S, Otomo E. Frontotemporal lobar degeneration with ubiquitin pathology: an autopsy case presenting with semantic dementia and upper motor neuron signs with a clinical course of 19 years. *Acta Neuropathol* 2006; 112: 739-749.
- Ikeda M. Interventional studies with the aim of reducing the burden of care through drug therapy of BPSD. *Acta Neurologica Taiwanica* 2006; 15: 65-66.
- Sumi Y, Miura H, Nagata M, Michiwaki Y, Uematsu. Colonisation of the

tongue surface by respiratory pathogens in residents of a nursing home. *Gerodontology* 2006; 23: 55-59.

Shinagawa S, Ikeda M, Shigenobu K, Tanabe H. Initial symptoms in frontotemporal dementia and semantic dementia compared to Alzheimer's disease. *Dement Geriatr Cogn Disord* 2006; 21: 74-80.

Ishikawa T, Ikeda M, Matsumoto N, Shigenobu K, Brayne C, Tanabe H. A longitudinal study regarding conversion from mild memory impairment to dementia in a Japanese community. *Int J Geriatr Psychiatry* 2006; 21: 134-139.

Matsumoto N, Ikeda M, Fukuhara R, Shinagawa S, Ishikawa T, Mori T, Toyota Y, Matsumoto T, Adachi H, Hirono N, Tanabe H. Caregiver's burden associated with behavioral and psychological symptoms of dementia in the local community elderly people. *Dement Geriatr Cogn Disord* 2007; 23: 219-224.

Hozawa A, Ohkubo T, Obara T, Metoki H, Kikuya M, Asayama K, Totsune K, Hashimoto J, Hoshi H, Arai Y, Satoh H, Hosokawa T, Imai Y. Introversion associated with large differences between screening blood pressure

and home blood pressure measurement: the Ohasama study. *J Hypertens* 2006; (in press)

Sasaki M, Arai Y, Kumamoto K, Abe K, Arai A, Mizuno Y. Factors related to potentially harmful behaviors towards disabled older people by family caregivers in Japan. *Int J Geriatr Psychiatry* 2007; 22(3): 250-257.

Oura A, Washio M, Arai Y, Ide S, Yamasaki R, Wada J, Kuwahara Y, Mori M. Depression among caregivers of the frail elderly in Japan before and after the introduction of the Public Long-Term Care insurance System. *Z Gerontol Geriatr* (in press)

Toyota Y, Ikeda M, Shinagawa S, Matsumoto T, Matsumoto N, Hokoishi K, Fukuhara R, Ishikawa T, Mori T, Adachi H, Komori K, Tanabe H. Comparison of behavioral and psychological symptoms in early-onset and late-onset Alzheimer's disease. *Int J Geriatr Psychiatry*: (in press)

荒井由美子, 熊本圭吾, 傳農 寿, 北本正和. わが国の一般生活者の高齢社会に対する意識. *日本医事新報* 2005; 4229: 23-27.

荒井由美子, 熊本圭吾, 杉浦ミドリ, 鷺尾昌一, 三浦宏子, 工藤 啓. 在宅ケアの質評価法 (Home Care Quality Assessment Index: HCQAI) の開発. 日本老年医学会雑誌 2005 ; 42 (4) : 432-443.

大浦麻絵, 鷺尾昌一, 森 満, 輪田順一, 荒井由美子. 訪問看護サービスを利用する要介護高齢者の性差に関する特徴. 保健師ジャーナル 2005 ; 61 (5) : 420-424.

大浦麻絵, 鷺尾昌一, 桑原裕一, 橋本恵理, 荒井由美子, 森 満. 介護保険導入前後における福岡県K地区においての要介護高齢者を介護する家族の抑うつ. 札幌医学雑誌 2005 ; 74 (1-2) : 5-8.

鷺尾昌一, 荒井由美子, 大浦麻絵, 山崎律子, 井手三郎, 和泉比佐子, 森 満. 介護保険導入後の介護負担と介護者の抑うつ—導入前から5年後までの訪問看護サービス利用者を対象とした調査から—. 臨牀と研究 2005 ; 82 (8) : 100 (1366) -104 (1370).

角保徳, 道脇幸博, 三浦宏子. 歯科と嚥下障害. モダンフィジシャン 2005 ; 26 : 46-49.

三浦宏子, 荒井由美子, 山崎きよ子. 在宅要介護高齢者ならびにその家族介護者における主観的言語コミュニケーション満足度の関連要因. 日本老

年医学会雑誌 2005 ; 42 (3) : 328-334.
新田順子, 熊本圭吾, 荒井由美子. 訪問看護師から見た介護者の介護負担の実態. 日本老年医学会雑誌 2005 ; 42 (2) : 181-185.

鷺尾昌一, 斎藤重幸, 荒井由美子, 高木 覚, 大西浩文, 磯部 健, 竹内 宏, 大畑純一, 森 満, 島本和明. 北海道農村部の高齢者を介護する家族の介護負担に影響を与える要因の検討: 日本語版 Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI) を用いて. 日本老年医学会雑誌 2005 ; 42 (2) : 221-228.

工藤 啓, 吉田俊子, 岡田彩子, 荒井由美子, 板宮 栄. 宮城県区市町村に対しての食塩摂取アンケート調査について—お茶漬け状況および区市町村の減塩目標設定に焦点を当てて—. 公衆衛生情報みやぎ 2005 ; 338 : 13-16.

工藤 啓, 荒井由美子. 汎用性のある市町村健康増進計画策定法の試みについて—住民参加型策定方法への対応に向けて—. 宮城大学看護学部紀要 2005 ; 8 (1) : 143-148.

工藤 啓, 吉田俊子, 荒井由美子. 主病名と第2病名による簡易国保医療費分析の試み—大和町での国保医療費分析 (中間報告) から—. 公衆衛生情報みやぎ 2005 ; 343 (7) : 15-18.

荒井由美子. 要介護高齢者を介護する者の介護負担とその軽減に向けて. 日

本老年医学会雑誌 2005 ; 42 (2) : 195-198.

荒井由美子. 家族介護者の介護負担の評価および在宅ケアの質について. 日本医師会雑誌 2005 ; 134 (6) : 1030-1031.

荒井由美子. 家族介護者の介護負担. 日本内科学雑誌 2005 ; 94 (8) : 1548-1554.

荒井由美子. 家族の介護負担および在宅ケアの質の評価. モダンフィジシャン 2005 ; 25 (9) : 1150-1153.

安部幸志, 荒井由美子. 認知症における社会的資源の活用: 一般生活者の高齢社会に対する意識調査から. 精神科 2005 ; 7 (3) : 219-225.

荒井由美子. 家族介護者の介護負担と居宅ケアの質の評価. 精神科 2005 ; 7 (4) : 339-344.

工藤 啓, 荒井由美子. 市町村の健康日本21の進捗状況と策定推進. 公衆衛生 2005 ; 69 (5) : 398-400.

荒井由美子, 新井明日奈. 高齢者への交通安全対策 - 認知症高齢者の運転を中心として -. 精神神経学雑誌 2005 ; 107 (12) : 1335-1343.

上村直人, 掛田恭子, 北村ゆり, 真田順子, 池田 学, 井上新平. 痴呆性疾

患と自動車運転 - 日本における痴呆患者の自動車運転と家族の対応の実態について -. 脳神経 2005; 57: 409-414.

豊田泰孝, 池田 学, 田辺敬貴. 地方都市における高齢者の自動車運転と公共交通機関に関する意識 - 痴呆と自動車運転の問題を中心に -. 日医雑誌 2005; 134: 450-453.

足立浩祥, 池田 学, 小森憲治郎, 田辺敬貴. 脳辺縁系 -update- C. 大脳辺縁系の症候 1. 高次神経機能. CLINICAL NEUROSCIENCE 2005; 23: 55-59.

品川俊一郎, 池田 学, 銚石和彦, 田辺敬貴. 前頭側頭型痴呆の前駆状態. NEUROSCIENCE 2005; 23: 302-304.

品川俊一郎, 池田 学. 前頭側頭型痴呆 - 前頭葉変性症型を中心に -. 老年精神医学雑誌 2005; 16: 329-335.

松本直美, 池田 学. 前頭葉の病変による痴呆. 最新精神医 2005; 10: 11-19.

池田 学. 痴呆の薬物療法 2. 精神科の立場から. 日本内科学会雑誌 2005; 94: 1529-1535.

Brayne C, 池田 学. 英国における痴呆の自動車運転 - 現状と課題について -. 老年精神医学雑誌 2005; 16:

831-835.

池田 学. ドネペジル治療によるレビ
ー小体型痴呆患者の介護負担に対す
る効果. 老年精神医学雑誌 2005; 16:
736-737.

上村直人, 諸隈陽子, 掛田恭子, 下寺
信次, 井上新平, 池田 学. 認知症高
齢者と自動車運転 -運転継続の判断
が困難であった認知症患者10例の精
神医学的考察-. 老年精神医学雑誌
2005; 16: 822-830.

松本光央, 豊田泰孝, 池田 学. 高齢
者の運転の実態と今後の展望につい
て. 老年精神医学雑誌 2005; 16:
815-821

銚石和彦, 池田 学, 田辺敬貴. 前頭
葉型痴呆の臨床. 神経進歩 2005; 49:
627-635.

豊田泰孝, 池田 学, 銚石和彦, 田辺
敬貴. 前頭側頭型痴呆 (FTD) 前頭葉
変性型. 老年精神医学雑誌 2005; 16:
1005-1010.

池田 学. アルツハイマー型痴呆の早
期診断-早期アルツハイマー型痴呆と
軽度認知障害 (MCI) のボーダー-.
CLINICIAN 2005; 52: 493-500.

繁信和恵, 池田 学. 前頭側頭型痴呆
のケア. 老年精神医学雑誌 2005; 16:
1120-1126.

石川智久, 池田 学. 軽度認知障害と
早期アルツハイマー病. 総合臨床
2005; 54: 3071-3077.

池田 学, 豊田泰孝, 繁信和恵. 痴呆
症患者の自動車運転中止に関するコ
ンセンサスと医師の役割について. 精
神神経誌 2005; 107: 1348-1352.

池田 学. 痴呆症の新たな治療戦略
精神症状と行動異常の治療. 臨床神経
2005; 45: 961-963.

工藤 啓, 荒井由美子. ヘルスケア情
報のIT化について-特に携帯用端末
(PDA: Personal Digital assistants)
の活用について-. 公衆衛生情報みや
ぎ 2006; 350: 10-12.

新井明日奈, 荒井由美子, 松本光央,
池田 学. 認知症高齢者の運転行動の
実態-家族介護者からの評価-. 日本
医事新報 2006; 4272: 44-48.

荒井由美子, 熊本圭吾, 佐々木恵, 工
藤 啓. 在宅ケアの質を測る新しい評
価法: HCQAI. 公衆衛生 2006; 70 (7) :
535-538.

上村直人, 池田 学, 荒井由美子, 野
村美千江, 博野信次. 認知症と社会的
側面~わが国における認知症ドライ
バー研究の動向~. 脳と神経 2006;
58 (6) : 463-470.

荒井由美子. 介護保険制度下における

家族介護. 日本社会精神医学会雑誌
2006 ; 15 (1) : 79-85.

新井明日奈, 荒井由美子, Zarit SH.
BPSD による家族介護者の負担および
その軽減策: 介護者への介入を中心と
して. 精神科 2006 ; 9 (1) : 48-56.

工藤 啓, 荒井由美子. 住民検診を基
にした地区診断について—宮城県大
和町の年齢層にも留意した地区診断
— 公衆衛生情報みやぎ 2006 ; 351:
21-25.

工藤 啓, 瀬川香子, 荒井由美子. 中
高年筋力トレーニング自主グループ
の活動支援とその医学的な効果につ
いて—宮城県大和町における自主グ
ループ育成支援の試み— 公衆衛生情
報みやぎ 2006 ; 353: 13-16.

荒井由美子. 高齢者・高齢社会に対す
る意識と認知症になった場合の意
識・行動: 2004 年一般生活者調査.
Dementia Care Support 2006 ; 臨時増
刊号: 18-22.

安部幸志, 荒井由美子, 池田 学. 家
族が認知症となった場合の対処行動
—一般生活者に対する調査から—.
日本医事新報 2006 ; 4292 : 63-67.

池田 学, 上村直人, 荒井由美子, 野
村美千江, 博野信次. 認知症高齢者の
自動車運転と権利擁護に関する研究.
公衆衛生 2006 ; 70 : 692-694.

松本光央, 池田 学, 豊田泰孝, 石川
智久, 上村直人, 博野信次, 田辺敬貴.
アルツハイマー病の運転能力低下に
関するスクリーニング検査—ドライ
ビングシミュレーターを用いた運転
能力評価について—. 老年精神医学
雑誌 2006 ; 17 : 977-985.

松本直美, 池田 学, 福原竜治, 兵頭
隆幸, 石川智久, 森 崇明, 豊田泰孝,
松本光央, 足立浩祥, 品川俊一郎, 銚
石和彦, 田辺敬貴, 博野信次. 日本語
版 NPI-D と NPI-Q の妥当性と信頼性の
検討. 脳神経 2006 ; 58 : 785-790.

松本伊津美, 小森憲治郎, 池田 学,
田辺敬貴. 高齢発症の意味認知症の一
例. 愛媛十全医療学院紀要 2006 ; 6:
23-26.

小森憲治郎, 石丸三和子, 池田 学,
田辺敬貴. 緩徐進行性失語. CLINICAL
NEUROSCIENCE 2006 ; 24: 777-780.

池田 学. 前頭側頭型認知症の臨床と
画像診断. Mebio 2006 ; 23: 57-63.

福原竜治, 銚石和彦, 蓮井康弘, 池田
学. 認知症を地域で支える 大学病院
の役割. 老年精神医学雑誌 2006 ; 17:
503-509.

品川俊一郎, 足立浩祥, 池田 学. 最
初期の認知障害. Pharma Medica 2006 ;
24: 35-38.

- 森 崇明, 池田 学. BPSD に対する薬物療法. 精神科 2006; 9: 43-47.
- 上村直人, 池田 学. 認知症と自動車運転-医療から見たわが国における現状と課題-. 実践成年後見 2006; 19: 93-101.
- 池田 学. BPSD に対する非定型抗精神病薬の使用をめぐって. 精神医学 2006; 48: 1165-1167.
- 繁信和恵, 池田 学. 前頭側頭型認知症の初期診断. モダンフィジシャン 2006; 26: 1865-1871.
- 石川智久, 池田 学, 田辺敬貴. 愛媛県中山町研究の結果から明らかになってきた課題. 老年精神医学雑誌 2006; 17 増刊号Ⅱ: 61-66.
- 鷺尾昌一, 荒井由美子, 稲葉佳江. 高齢化社会における公衆衛生看護・地域看護と疫学教育の役割. 臨床と研究 2006; 83 (10) : 112 (1538) -114 (1540).
- 畑良明, 三浦宏子, 葭内純史, 山崎亜希, 半田慶介, 斎藤隆史. 乳歯齲蝕, 永久歯齲蝕に及ぼす生活要因分析. 北海道医療大学歯学雑誌 2006 ; 25 : 45-52.
- 西村美十鈴, 三浦宏子. 中学生におけるアレルギー疾患と生活習慣との関連性. 九州保健福祉大学研究紀要 2006 ; 7 : 205-210.
- 熊本圭吾, 荒井由美子. 在宅ケアの質評価法 Home Care Quality Assessment Index: HCQAI の妥当性の検証. 日本老年医学会雑誌 2006; 43 (4) : 518-524.
- 新井明日奈, 荒井由美子, 松本光央, 池田 学. 認知症高齢者の運転行動の実態-家族介護者からの評価-. 日本医事新報 2006; 4272: 44-48.
- 荒井由美子, 佐々木恵, 熊本圭吾. 国立長寿医療センター方式訪問看護データベース入力支援システムの開発. 日本医事新報 2006 ; 4285: 69-73.
- 池田 学. 巻頭言 日本の認知症臨床のレベルと今後に期待すること. 老年精神医学雑誌 2007; 18: 6-7.
- 新井明日奈, 佐々木恵, 荒井由美子. 医療制度・介護保険制度に対する認識と不安: 2006 年一般生活者調査から. Geriatric Medicine 2007 ; 45 (2) : 139-144.
- 工藤 啓, 高橋和子, 吉田俊子, 荒井由美子. 訪問看護ステーションにおけるデータベース電子カルテの可能性について: 電子カルテ導入における課題とその展望 公衆衛生情報みやぎ 2007; 363: (印刷中)
- 品川俊一郎, 池田 学, 豊田泰孝, 松本光央, 松本直美, 足立浩祥, 森 崇明, 石川智久, 福原竜治, 銚石和彦, 田辺敬貴. 地域在住高齢者における

主観的もの忘れの背景因子の検討。
老年精神医学雑誌：(印刷中)

池田 学. FTLD 等認知症周辺症状の
マネジメント。分子精神医学：(印刷
中)

櫻林哲雄, 石川智久, 田辺敬貴, 秦 龍
二, 池田 学. MCI と LNTD. 分子精神
医学：(印刷中)

前田直樹, 長友真実, 田中陽子, 三浦
宏子. 福祉系大学生の共依存と心理的
健康。九州保健福祉大学研究紀要
2007：(印刷中)

2. 著書

Ikeda M. Fronto-temporal dementia.
Therapeutic strategies in dementia
(Eds. Ritchie CW, Ames DJ, Masters
CL, Cummings J). Clinical
Publishing, Oxford, 2006: 287-299.

荒井由美子. 精神障害の現状と動向。
鈴木庄亮・久道 茂, 編。シンプル衛
生公衆衛生学 2005。東京：南江堂,
2005：293-303.

荒井由美子. 家族介護者の介護負担。
武田雅俊, 編。現代老年精神医療。大
阪：永井書店, 2005：263-267.

熊本圭吾, 荒井由美子. 高齢者の心理
的支援。武田雅俊, 編。現代老年精神
医療。大阪：永井書店, 2005：294-298.

福原竜治, 池田 学. 物忘れ外来。井
上新平, 編。精神科・神経科ナースの
疾患別ケアハンドブック。大阪：メデ
ィカ出版, 2005：240-243.

池田 学. アルツハイマー病の早期診
断。三木哲郎, 編。日常臨床に活かす
老年病ガイドブック第4巻 認知症・
うつ・睡眠障害の診療の実際。東京：
メジカルビュー社, 2005：56-63.

池田 学. 前頭側頭型痴呆。武田雅俊,
編。現代老年精神医療。大阪：永井書
店, 2005：603-608.

小森憲治郎, 池田 学, 田辺敬貴. 原
発性進行性失語 (Primary Progressive
Aphasia: PPA). 笹沼澄子, 編。コミ
ュニケーション障害の新しい視点と
治療理論。東京：医学書院, 2005：
221-238.

荒井由美子. 介護負担の評価。鳥羽研
二, 編。日常診療に活かす老年病ガイ
ドブック第7巻 高齢者への包括的ア
プローチとリハビリテーション。東
京：メジカルビュー社, 2006：128-133.

荒井由美子, 佐々木恵, 熊本圭吾. 在
宅ケアの質の評価。大内尉義, 編。日
常診療に活かす老年病ガイドブック
第8巻 高齢者の退院支援と在宅医療。
東京：メジカルビュー社, 2006：
182-187.

荒井由美子. 精神障害の現状と動向。

鈴木庄亮・久道 茂，編．シンプル衛生公衆衛生学 2006．東京：南江堂，2006：295-305．

石川智久，池田 学．臨床症状(地域コホート研究を基盤として)．村山繁雄，編．アルツハイマー病診断．東京：真興交易出版，2006：43-53．

池田 学．認知症の診断．池上博司，楽木宏美，編．老年病・認知症-長寿の秘けつ-．東京：メディカルビュー社，2006：207-211．

池田 学．前頭側頭型痴呆に有効な薬物療法はあるか．上島国利，三村 将，中込和幸，平島奈津子，編．EBM精神疾患の治療2006-2007．東京：中外医学社，2006：363-367．

池田 学．記憶障害．岩田 誠，鹿島晴雄，編．言語聴覚士のための基礎知識 臨床神経学・高次脳機能障害学．東京：医学書院，2006：196-200．

池田 学，田辺敬貴．前頭側頭型認知症(痴呆)．平井俊作，編．老年期痴呆ナビゲーター．東京：メディカルビュー社 2006：108-109．

豊田泰孝，池田 学．ピック病．平井俊作，編．老年期痴呆ナビゲーター．東京：メディカルビュー社 2006：110-111．

秦 龍二，池田 学．FTDP-17．平井

俊作，編．老年期痴呆ナビゲーター．東京：メディカルビュー社 2006：118-119．

荒井由美子．精神障害の現状と動向．鈴木庄亮・久道 茂，監修．小山洋・辻 一郎，編．シンプル衛生公衆衛生学 2007．東京：南江堂，2007：299-309．

池田 学．前頭側頭型痴呆の治療法は．岡本幸市，棚橋紀夫，水澤英洋，編．EBM 神経疾患の治療 2006-2007．東京：中外医学社，2007：223-227．

池田 学．非アルツハイマー型変性認知症．山口 徹，北原光夫，福井次矢，編．今日の治療指針 2008 年版 私はこう治療している．東京：医学書院：(印刷中)

3. 学会発表

Ikeda M. Treatment of BPSD with atypical antipsychotics: Varid or not? "Symposium: Principles of pharmacological treatment for BPSD". The 6th Annual Meeting of International College of Geriatric Psychoneuropharmacology, 2006 October 3-6, Hiroshima, Japan.

Ikeda M. non-pharmacologic treatment and care. "Symposium: Clinical Issues". 5th International Conference on Frontotemporal Dementias, 2006

September 6-8, San Francisco, USA.

Miura H, Arai Y. Oral Health Care Needs and Provision for the impaired elderly. 84th General Session & Exhibition of IADR (International Association for Dental Research). 2006 June 28-July 1 (Presentation: June 29), Brisbane, Australia.

Abe K, Arai Y. Dementia-Related Help-Seeking Behavior among the general population in Japan. The 59th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America, 2006 November 16-20 (Presentation: November 18), Dallas, USA.

荒井由美子. 認知症患者と運転免許：道路交通法とその適用。(シンポジスト) 第101回日本精神神経学会シンポジウム6(痴呆高齢者の自動車運転と権利擁護), 2005年5月18-20日(発表18日), 埼玉県さいたま市.

荒井由美子. 介護保険制度下における家族介護者。(シンポジスト) 第20回日本老年精神医学会シンポジウムⅢ(老年精神医療における介護保険), 2005年6月16-17日, 東京都.

荒井由美子. 介護保険制度と家族介護。(シンポジスト) 第25回日本社会精神医学会シンポジウムⅡ(高齢社会における地域と家族), 2006年2月23-24

日, 東京都.

池田 学. 地域におけるMCIの診断法と検出後の介入に関する問題点. シンポジウム「わが国のフィールドスタディーにおけるMCI」. 第21回日本老年精神医学会, 2006年6月30日-7月1日, 東京都.

池田 学. BPSDの薬物療法. シンポジウム「認知症の病態と治療薬の開発」. 第16回日本臨床精神神経薬理学会, 2006年10月25-27日, 小倉.

鷺尾昌一, 大浦麻絵, 荒井由美子, 山崎律子, 井手三郎, 和泉比佐子, 森 満. 介護者の抑うつ割合と介護負担の経年的変化: 介護保険導入前~5年目まで. 第15回日本疫学会学術総会, 2005年1月21日, 滋賀県大津市.

大浦麻絵, 鷺尾昌一, 荒井由美子, 井手三郎, 山崎律子, 輪田順一, 桑原裕一, 森 満. 介護者の抑うつに関連する要因; 介護保険制度導入前後での検討. 第15回日本疫学会学術総会, 2005年1月21日, 滋賀県大津市.

山崎律子, 堤 千代, 鷺尾昌一, 荒井由美子, 井手三郎. 訪問看護サービスを利用している主介護者の介護負担の要因. 第15回日本疫学会学術総会, 2005年1月21日, 滋賀県大津市.

三浦宏子, 荒井由美子, 山崎きよ子. 在宅要介護高齢者における摂食・嚥下

障害リスクと口腔ケア実施状況. 第47回老年医学会, 2005年6月15-17日, 東京.

松本光央, 池田 学, 豊田泰孝, 上村直人, 荒井由美子, 田辺敬貴. ドライビングシミュレーターを用いたアルツハイマー病患者の運転能力評価の試み. 第20回日本老年精神医学会, 2005年6月16-17日, 東京都.

三浦宏子, 荒井由美子, 山崎きよ子. 在宅要介護高齢者における口腔ケア実施に関する要因分析. 日本公衆衛生学会, 2005年9月14-16日, 北海道札幌市.

大浦麻絵, 鷺尾昌一, 輪田順一, 荒井由美子, 森 満. 在宅要介護高齢者の入院・入所のリスク要因. 日本公衆衛生学会, 2005年9月14-16日, 北海道札幌市.

佐々木恵, 熊本圭吾, 荒井由美子. 要介護高齢者介護者の介護負担を規定する要因の検討. 第16回日本疫学会学術総会, 2006年1月23-24日, 名古屋市.

鷺尾昌一, 竹居田和之, 荒井由美子, 大浦麻絵, 鈴木 拓, 園田智子, 坂内文男, 森 満. 寒冷地で要介護高齢者を介護する家族介護者の抑うつ—北海道稚内市の訪問看護ステーション利用者調査より—. 第16回日本疫学会学術総会, 2006年1月23-24日, 名古屋

市.

吉益光一, 鷺尾昌一, 倉澤茂樹, 宮井信行, 宮下和久, 荒井由美子. 要介護高齢者を介護する家族の介護負担の地域差について. 第76回日本衛生学会総会, 2006年3月25-28日, 山口県宇部市.

倉澤茂樹, 吉益光一, 鷺尾昌一, 宮井信行, 宮下和久, 荒井由美子. 要介護高齢者を介護する家族介護者の抑うつ状態に関連する要因. 第76回日本衛生学会総会, 2006年3月25-28日, 山口県宇部市.

佐々木恵, 熊本圭吾, 荒井由美子. 「国立長寿医療センター方式訪問看護データベース入力支援システム」の開発. 第48回日本老年医学会学術集会, 2006年6月7-9日(発表8日), 石川県金沢市.

安部幸志, 荒井由美子. 一般生活者を対象とした認知症における援助希求行動尺度の作成と妥当性に関する検討. 第48回日本老年社会学会大会, 2006年6月24日-25日(発表25日), 兵庫県西宮市.

水野 洋子, 荒井由美子. 高齢者虐待の防止に係る施策—英国におけるProtection of Vulnerable Adults (POVA)スキームの概要と課題—. 第48回日本老年社会学会大会, 2006年6月24日-25日(発表25日), 兵庫県西

宮市.

増原宏明, 田近栄治, 荒井由美子. 高齢期までの累積医療費格差の分析—セミパラメトリックモデルによるシミュレーション例—. 第48回日本老年社会科学大会, 2006年6月24日-25日(発表25日), 兵庫県西宮市.

上田照子, 荒井由美子. 高齢者を介護する息子の実態と虐待の背景要因. 第48回日本老年社会科学大会, 2006年6月24-25日(発表25日), 兵庫県西宮市.

佐々木恵, 新田順子, 安部幸志, 荒井由美子. 家族介護者による要介護高齢者に対する虐待の関連要因. 第21回日本老年精神医学会大会, 2006年6月30日-7月1日(発表30日), 東京都.

安部幸志, 荒井由美子. わが国の一般生活者における認知症の病名告知に対する希望に関する探索的検討. 第21回日本老年精神医学会大会, 2006年6月30日-7月1日(発表30日), 東京都.

新井明日奈, 荒井由美子, 松本光央, 池田 学. 認知症高齢者における自動車運転の実態—家族介護者からの評価—. 第21回日本老年精神医学会大会, 2006年6月30日-7月1日(発表1日), 東京都.

前田直樹, 長友真実, 田中陽子, 三浦宏子. 福祉系大学生の共依存と心理的

健康. 第44回全国大学保健管理研究集会, 2006年10月11-12日, 東京.

上田照子, 荒井由美子, 西山利正. 在宅要介護高齢者における家族による虐待—息子を中心として—. 第65回日本公衆衛生学会総会, 2006年10月25-27日(発表27日), 富山市.

三浦宏子, 山崎きよ子, 荒井由美子. 地域高齢者の摂食・嚥下障害評価指標の開発とその応用性に関する検討. 第65回日本公衆衛生学会, 2006年10月25-27日(発表27日), 富山市.

新井明日奈, 荒井由美子. 認知症患者の自動車運転に関する課題の検討. 第65回日本公衆衛生学会総会, 2006年10月25-27日(発表27日), 富山市.

倉澤茂樹, 吉益光一, 鷺尾昌一, 宮井信行, 宮下和久, 荒井由美子. 要介護高齢者を介護する家族の介護負担感の地域差について: 要因とその背景の検討. 第65回日本公衆衛生学会, 2006年10月25-27日(発表27日), 富山市.

佐々木恵, 荒井由美子. 「国立長寿医療センター方式訪問看護データベース入力支援システム」の導入効果の検討. 第17回日本疫学会学術総会, 2007年1月26-27日(発表26日), 広島市.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得、2. 実用新案登録、3.
- その他、特記すべきことなし。

メインメニュー

訪問看護入力
 インフォメーション

報告書作成
 利用者検索
 訪問看護記録検索

利用者マスタ
 担当者マスタ
 システム管理

★インフォメーション★

2006年01月24日	報告書は月末までに提出すること	管理者
2006年01月17日	明日9:00より定期ミーティングです	チーフ

図1 システムトップ画面

2件

表示日付	入力者
06/01/17	管理者 チ-7
06/01/24	

図 2 インフォメーション入力画面

利用者マスター

表示

F1 新規 F2 編集 F3 印刷 F4 登録 F5 >| F6 <| F7 > F8 検索 F9 参照 F10 削除 F11 印刷 F12 戻る

利用者 大府 源吾 男 1925/01/01 81 更新日 06/01/17

住所 大府市森岡町源吾36-3

TEL 0662-48-2311

初回訪問日 06/01/04

要介護者 性別女 続柄妻 年齢 75

家族構成 本人 妻 同居人数 2

基本情報

登録日 06/01/04

病名 脳梗塞後遺症(左片麻痺) 糖尿病

要介護度 要介護3 医療保険 介護保険 療養介護 B2

看護時間 30分以上1時間未満

サービス

訪問介護	訪問看護	訪問入浴	訪問看護	訪問看護	福祉用貨与	備考
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
回数/週						
1						
2						

その他

主治医 長寿 政策

担当者 Ns Itest

計画書Dr用 06/01/04 利用者用 06/01/04

事業所 認知O×事業所

担当 認知 愛子

図 3 利用者マスター画面

利用者情報

2008年1月24日 訪問看護ステーション

利用者	0100 大府 源香	性別	男	生年月日	1925/01/01	更新日	08/01/17
住所	大府市森岡町源香36-3						
TEL	0682-46-2811						
初回訪問日	08/01/04						
主介護者	性別	年齢	同居人数				
家族構成	本人	妻	同居人数 2				
登録日	08/01/04						
病名	脳梗塞(左片麻痺)						
要介護度	要介護3	医療保険	<input type="checkbox"/> 肺泉自立度 III <input type="checkbox"/> 30分以上1時間未満				
訪問介護	回数/週	回数	回数	回数	回数	回数	回数
通所介護	<input type="checkbox"/>						
通所介護	<input type="checkbox"/>						
訪問入浴	<input checked="" type="checkbox"/>	1					
短期入所	<input type="checkbox"/>						
訪問看護	<input checked="" type="checkbox"/>	2					
訪問介護	<input type="checkbox"/>						
福祉用貸与	<input type="checkbox"/>						
備考							
主治医	長壽 政策	事業所	愛知	事業所	相当	愛知	愛子
担当者	Ns test	PT	OT	中間ケア			
計画書Dr用	08/01/04	利用者用	08/01/04				

図 4 利用者マスター印刷プレビュー画面

訪問看護入力

表示

利用者
 訪問日 06/01/24 訪問時間 10:00 ~ 11:00 60 介護保険単位 3 医療保険
 担当者 test NS

バイタル

BF1	142
BF2	78
体温	36.4
脈拍	59
呼吸	
SPO2	98

詳細情報

食事 定量摂取
 睡眠 問題なし
 排便 問題なし
 排泄 問題なし
 浮腫 見られず

清蒸援助
 洗髪
 髪部先争
 口腔清拭
 爪切り
 寝具交換

排泄援助
 膀胱洗浄
 導尿
 高腸
 拘便
 その他

処置

褥瘡処置
 創処置
 その他

気管カニューレ
 胃チューブ
 留置カテーテル
 尿管カ
 その他

交換

入浴
 清拭
 手洗い
 足洗い
 その他

リハビリテーション

肢體訓練
 呼吸訓練
 話し訓練
 言語訓練
 その他

その他

特記事項 体調良好。月末に別居している娘夫婦のところへ過ごすとのこと。26日・31日は訪問なし。

図 5 訪問看護入力(記録書)画面

訪問看護入力

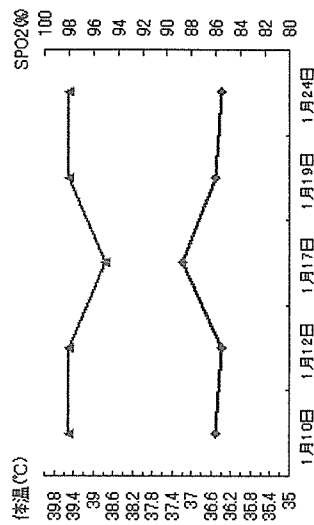
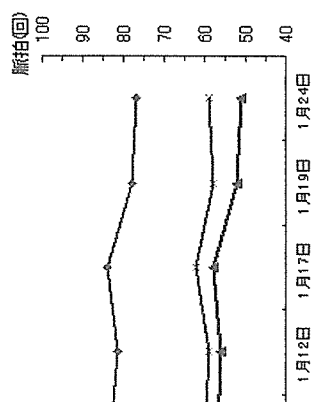
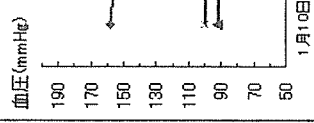
表示

F1 新規 F2 編集 F3 中止 F4 記録 F5 K F6 < F7 > F8 検索 F9 F10 F11 印刷 F12 戻る

バイタルサイン

利用者 大府 源吾 男 81 才

2006年	1月	
日	月	火
1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31		



1ヵ月分のバイタルを表示します(日に数回訪問する場合は、訪問時間の最初を表示しています)

図 6 訪問看護入力(記録書)バイタルサイングラフ表示画面

